

北海道支局
SAPPORO
〒060-0807
札幌市北区北七条西4丁目8-3
北口ヨシヤビル9階
TEL (011) 756-1321 FAX (011) 756-1322

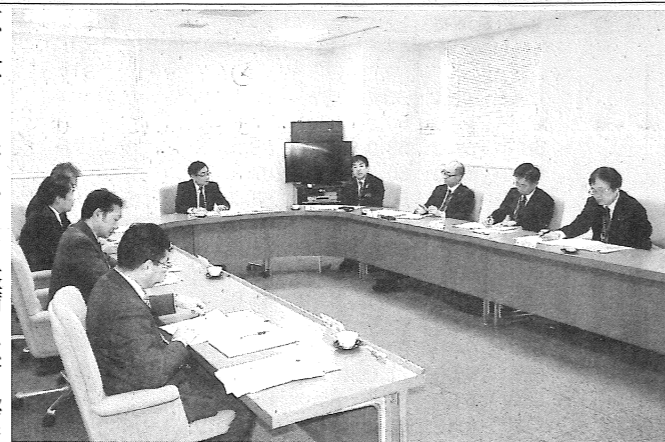
東北支局
SENDAI
〒980-0804
仙台市青葉区大町1丁目1番8号
第3青葉ビル5階
TEL (022) 223-9032 FAX (022) 211-6860

北日本ネットワーク

北海道・東北

JAPAN METAL BULLETIN
Local Network

点目はとくにマスコミにお願いしたいが、防潮堤の建設に当たって合意形成を進めているが、丁寧に説明させて頂き、大半は合意形成できている。ただ、できていない数カ所をフォローアップしたり、できていても反対意見ばかり取り上げるのはやめてほしい。公正で、中立的な立場に立ってほしい。もう一点は、これまでかさ上げ工事などの土台づくりを進めてきたが、今後はその上に成り立つものを



東北地整と6県1市の幹部が参集し、震災からの歩みと東北が目指す姿を話し合う

整備しなければ真の復興と言えない。岩手、福島も同様だと思いが、これからは正倉場、しっかりと再生していきたい。

— 岩手は。連見有敏・岩手県国土整備部長「復興道路の整備も目に見えて進んでおり、港湾の整備も進まよくなっている。物流や企業立地の話もたくさん出ており、しっかりとものに、地域の活性化につなげる。一つ一つ問題をクリアし、被災地の復興を進めていく」

最後に、東北全体を進めることは、川瀧弘之・国土交通省東北地方整備局長「これまでの経験や課題を風化させず、全国に伝えていくことがわれわれの義務。東北は、防災において先進プロジェクトであり、皆さんが進められている事業は日本でも最先端のこと。世の中にPRすること、震災から5年経ち、次のステップに踏み出す節目に来ている。各々新しい旗を立て、チャレンジしてほしい。東北はこれからの5年で大きく変わる。これまで東北道一本だけだった縦軸が4本に増え、横軸の整備も進む。15カ所ある港湾、9カ所ある空港が道路と結ばれることで、ヒトやモノの動きが劇的に変わる。われわれとしても、これらのインフラをどう使って頂くかという施策にも取り組んでいく必要がある」

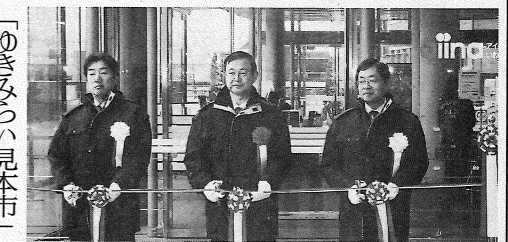
(深田 政之)

【盛岡】国土交通省東北地方整備局などが主催する「ゆきみらい2016 in 盛岡」が9、10日の両日、岩手県盛岡市のアイーナ、マリオスなどで開かれ、同時に開催された

ゆきみらい2016 in 盛岡

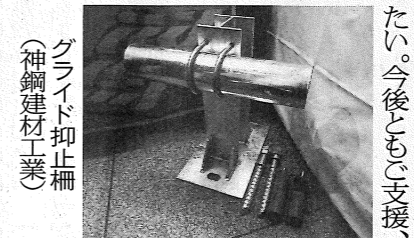
鉄鋼3社が技術PR

雪崩や寒冷地対策一堂に



テーブルカット(左から岩手県国土整備部長の連見有敏氏、国土省の池内技監、同東北地方整備局長の川瀧弘之氏)

「ゆきみらい見本市」に鉄鋼関連業界から神鋼建材工業、東光鉄工、理研興業が出展した。冒頭開かれたオープニングセレモニーでは、主催者を代表して国土省の池内幸司技監があいさつに立ち、当省としても、新しい技術や知見を活用し、皆さまとともに地域の活性化や地方創生に努めたい。今後ともご支援



グラインド抑止柵(神鋼建材工業)



TOKOドームを紹介(東光鉄工)

ご協力をお願いしたい」と語った。

神鋼建材工業は、NETIS(新技術情報提供システム)にも登録され、雪庇などをくらない景観型雪崩予防柵「グラインド抑止柵」を出展、雪庇などの除去作業が不要になるほか、斜面の凹凸状況でロープ式とパイプ式を



川瀧東北地方整備局長(手前)の隣で説明する理研興業の柴尾社長(中央)

招き、「住宅産業予測」と題して講演会を開催。三浦社長は新築を元請けする工務店は全有し、補完しながら共に成長したい。SSS会の繁栄を期して当社の繁栄もなとと考えており、今後も一緒に仕事をさせて頂きたい」と述べた。

第1部では、新築新聞社の三浦祐成社長を



三浦祐成

自前主義をやめ共有協働の大切さを説く三浦社長

国に約2万1000社あるが、20年には一方社を切る水準まで減ると予測。「新築だけに頼る時代は終わっており、モデル・商品開発やリフォームなどの川上、川下に商機があり、地域ワンストップビルダー化することが生き残る道」と話した。

また、第2部では会員会社と協働した成功

事例を紹介。LIXILのリフォーム玄関「リシエント」や、同社が手掛ける建築金物の個別配送を担当社員が発表し、会員会社の拡販や効率アップにつながっていることなどを説明した。

北海道地区の2015年10月普通鋼鋼材受注量 (単位:トン、%)

鋼材種別	受注量	前月比
鋼矢板	1,558	20.3
形鋼(含軌条)	3,461	3.0
H形鋼	10,516	5.1
軽量形鋼、リム・サッシバ	610	17.1
棒鋼・平鋼	26,315	4.8
線材	1,957	5.5
厚中板	10,445	15.5
熱延コイル	7,718	2.7
熱延薄板	142	111.9
冷延薄板類(含電気鋼板)	1,277	36.1
亜鉛めっき鋼板	3,182	14.5
その他表面処理鋼板(含ブリキ・ティンフリー)	4,094	16.7
鋼管	6,439	4.7
合計	77,714	1.2

出所: 日本鉄鋼連盟

東北地区の2015年10月普通鋼鋼材受注量 (単位:トン、%)

鋼材種別	受注量	前月比
鋼矢板	8,240	26.1
形鋼(含軌条)	5,368	4.6
H形鋼	22,025	0.0
軽量形鋼、リム・サッシバ	2,552	3.4
棒鋼・平鋼	26,387	12.6
線材	7,153	0.9
厚中板	24,959	3.6
熱延コイル	15,611	21.0
熱延薄板	560	16.2
冷延薄板類(含電気鋼板)	7,768	18.4
亜鉛めっき鋼板	23,158	12.2
その他表面処理鋼板(含ブリキ・ティンフリー)	9,229	20.4
鋼管	12,632	0.5
合計	165,642	7.5

出所: 日本鉄鋼連盟

2015年度北海道認定企業

道庁	Hグレード	Mグレード	Rグレード	Jグレード	未認定	合計
道央	旭インベックス、井上鉄骨工業、北川組鉄工所、竹原鉄工所、巴コーポレーション、日成興産、北榮興業、双葉工業社、オーテック	ヒシエヌ西村工業、マルキン金属製作所、北央機工、池下工業、岩見沢鉄骨工業、栄進工業、道央建設、北海道内田鍛工、富山工業	北郷製作所、北日本製作所、日通機工、山鐵北都工業、船本工業、つばさビルド、日成ビルド、伊東工業	北海道セキスイハイム工業	共和鉄工、*三ツ輪建鉄工業、*ミノリ工業、*ナカワ	31工場
函館	港工業	山本鉄工、高松工業	西村鉄建工業、岩本製作所	山竹能代工業所	西川工業所、朝日製作所	8工場
室古小樽	王子工営北海道、五洋建設、大川鉄工所、檜崎製作所	原工業所、山下工業所、遠藤鉄工所、*マルエ工業、ライフ	三共企業、吉村工作所			11工場
旭川		イシカワ、堀山鉄工、佐藤重工業、井鉄工所、榎山鐵工所、松田鉄工、稚内港湾施設、松山				8工場
北見		連井鉄工所、安田鉄工所、鉄鋼クリエート				3工場

組立移動可能 住居でコンペ
LIXIL住生活財団

「LIXIL住生活財団(潮田洋一郎理事長)は、次世代のサステナブル建築の技術を模索・検証し、地球社会にその技術を発信することを目的として、「第6回LIXIL国際大会」を開催し、審査委員長は東京大学工学部教授の柴尾誠司氏を招き、世界建築系大学研究会对象とした実践コンペで、審査会に選ばれた北海道大樹町にある研究施設「メムメドウズ」内の敷地に作品を建設する。

第6回のテーマは「Comfort and Lightweight(快適で軽量の住居)」と題し、組立て・移動可能な軽量の住居の提案を、世界10カ国・12大学の学生から募集。移動できる場所の豊かさを考えた上で、移動でき、大樹町の夏や冬など、環境を楽しめる住居を提案することを今回の審査基準としている。

4月初旬に1次審査を行い2次審査に進む3チームを選出。4月中旬に行われる2次審査で最優秀案を選出する。最優秀案は「メムメドウズ」内の敷地のほか、東京など他の場所でも組み立て、活用することを視野に入れている。

審査委員長は東京大学工学部教授の柴尾誠司氏を招き、世界建築系大学研究会对象とした実践コンペで、審査会に選ばれた北海道大樹町にある研究施設「メムメドウズ」内の敷地に作品を建設する。

第6回のテーマは「Comfort and Lightweight(快適で軽量の住居)」と題し、組立て・移動可能な軽量の住居の提案を、世界10カ国・12大学の学生から募集。移動できる場所の豊かさを考えた上で、移動でき、大樹町の夏や冬など、環境を楽しめる住居を提案することを今回の審査基準としている。

4月初旬に1次審査を行い2次審査に進む3チームを選出。4月中旬に行われる2次審査で最優秀案を選出する。最優秀案は「メムメドウズ」内の敷地のほか、東京など他の場所でも組み立て、活用することを視野に入れている。

審査委員長は東京大学工学部教授の柴尾誠司氏を招き、世界建築系大学研究会对象とした実践コンペで、審査会に選ばれた北海道大樹町にある研究施設「メムメドウズ」内の敷地に作品を建設する。

第6回のテーマは「Comfort and Lightweight(快適で軽量の住居)」と題し、組立て・移動可能な軽量の住居の提案を、世界10カ国・12大学の学生から募集。移動できる場所の豊かさを考えた上で、移動でき、大樹町の夏や冬など、環境を楽しめる住居を提案することを今回の審査基準としている。